

着こなしをセルフチェックしよう!



同じスーツを着ているのに、左右のモデルと上のモデルは随分と印象が違います。その差はどこなのか、ポイントをご自分でチェックして、正しい着こなしを身につけましょう。何よりも大切なのは「オシャレ」よりも「お客様から見て、きちんと見える」ことです。

NG POINT



A 背中に一文字のシワが出る
サイズが大きいと肩が落ちてしまい、背中に「突きジワ」と呼ばれるシワが出ます。これが出たら、サイズ見直しのサインです。

B ネクタイの大剣が長すぎる
ジャケットの下からタイの剣先が出過ぎてしまうと、みっともない印象です。最適なバランスは、ベルトに半分かかるくらいの長さです。

C すべてのボタンを留めている
ボタンをすべて留めると、フロントに不自然なシワが。2つボタンのスーツなら、上1つを留めるだけでOK。下のボタンは飾りです。

D シャツのカフスが隠れている
本来「下着」であるシャツは、ジャケットの袖を汚さないよう1cm~1.5cmほど出すのが、クラシックな着こなしのルールなのです。



E 胸もとが開きすぎている
胸もとの開きすぎは、不真面目な印象を抱かせてしまうことも。いくら綺麗なデkolレでも、お客様にアピールする必要はありません。

F アクセサリーが華美すぎる
着飾って楽しむのは、ご来店くださるお客様の特権。お迎えする側は控えめに、細い銀のチェーンなどを選ぶのが無難といえるでしょう。

G スカートの丈が短すぎる
こちらも、信頼感に乏しい印象を抱かせます。女性ならば可愛らしさは必要かもしれませんが、過度なお色気は控えるべきです。

H 装飾的なシューズを隠している
アクセサリーと同じで、おもてなしする側のお客様よりも着飾ってしまうのは考えもの。ダメとは言えませんが、避けたいほうが無難でしょう。

How to tie a necktie.

タイの締め方

[プレーンノット]

動画はコチラ!

STEP 1: 大剣側が小剣側の上にくるように、胸の前でクロスさせます。大剣側を長めにとるのがコツ。小剣側についている生地の際目を目印です。
STEP 2: 小剣側、大剣側をひと巻きし、ループをつくりまします。
STEP 3: 大剣側を後ろから回し、前に持ってきてループに通します。通したら、結び目(ノット)が固く小さくなるように形を整えます。
STEP 4: 小剣側を引っ張りながら、上に上げれば完成。プレーンノットと呼ばれる、最も汎用的な結び方です。

How to put a chief.

チーフの挿し方

[TVフォルド]

動画はコチラ!

STEP 1: チーフにアイロンをかけてシワを伸ばしたら、半分に折ります。
STEP 2: 折り目を下にし、3分の1を折り返します。
STEP 3: 反対側も折り返します。スーツの胸ポケットの幅に合うよう、折り返し具合を調整しましょう。
STEP 4: ポケットの深さに合わせて下部分を折り返し、長さを調節したら、胸ポケットに挿して完成です。縁を1~2cmほど覗かせるのが、美しいバランス。TVフォルドと呼ばれる、最もフォーマルな挿し方です。

完成